

2009 年 7 月 23 日

鎌倉市長 石渡徳一 様
鎌倉市教育長 熊代徳彦 様

図書館とともだち・鎌倉
代表 黒瀬聖子

図書館職員について（要望）

日頃より鎌倉市の教育行政にご尽力いただきありがとうございます。また、私たちの活動へのご理解、ご協力に感謝申し上げます。

現在、鎌倉市図書館は 2 年後に迎える開館 100 周年に向け、記念誌作成等、市民とともに準備を進めているところです。明治 44 年、市民の厚い篤志に支えられ、県内で最も早く誕生した公立図書館の記念すべき日を間近にし、私たちも歴史の足音を感じています。

しかし、100 年の歴史を持つ図書館として、また、文化都市鎌倉にふさわしい図書館として、残念ながら鎌倉市の図書館は未だ発展途上にあると言わざるをえません。

私たち市民が望む図書館を実現するために、以下の通り要望いたします。

要望事項

司書資格を有する職員を図書館に新規採用してください。

要望理由

図書館は、市民生活に欠かせない情報提供の場です。また、多くの資料を収集保存し、過去の歴史と知識を未来へ生かすという重要な役割も担っています。選書・適切な保管・情報提供等、いずれも高い専門的知識を要する仕事です。

私たちは、図書館の存在意義や可能性を一人でも多くの市民と共有し、共に考えることを目的に、昨年度より、図書館振興のための各種事業を図書館と協働で行っています。職員とともに事業を企画・運営するというその経験を通して、これからの図書館の充実・発展のためにはその運営に携わる有能な職員の存在が不可欠だという思いを一層強くしました。

あらゆる職業がそうであるように、有能な人材は育ち・育てるものです。図書館職員の新規採用は平成 5 年（1993 年）以降されておらず、すでに 16 年の空白が生まれています。業務の継続と専門性の醸成のために、一刻も早くこの状況に対応すべきと考えます。

また、数年にわたり、退職者の補充は「事務職員」でなされていますが、業務の専門性・継続性が必要とされる職種であることから、司書有資格者を「技術職員」として採用することが不可欠です。図書館職員には豊富な経験と絶え間ない研鑽が必要であることは言うまでもありませんが、司書資格は図書館の基礎知識を学んだ証であり、運営に対する意欲と関心の表れでもあるからです。

鎌倉の未来のために、生涯にわたる学びの場であり、世代を超えて心豊かに集える居場所でもある図書館が果たす役割ははかり知れません。その図書館を支える人材もまた、私たちの大切な財産です。鎌倉の未来を支える人材を、確保していただきたいと思います。

以上